

発表No.

テーマ

205

# 総合事務所の靴箱における放置靴数の撲滅

会社・事業所名(フリガナ)

発表者名(フリガナ)

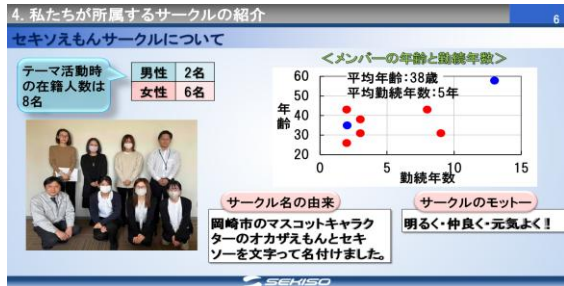
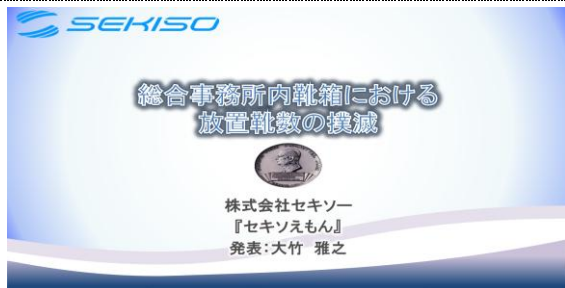
株式会社セキソー 総務室・営業部・人事部・経理部・調達部  
(カブシキガイシャセキソー ソウムシツエイギョウブジンジブケイリブチョウタツブ)

大竹 雅之 (オオタケ マサユキ)



## 発表のセールスポイント

私達は業務の異なる5部署が集まってサークル活動を行っています。今回の取り組みは、共通の拠点である総合事務所における共通の困りごとである靴箱における靴の無断放置の状態を解決すべく、全社へのアンケート調査協力をもったりして放置靴を浮き彫りにして一斉に処分し、さらに管理ルールを定めて使用側の管理を行うようにして放置靴0を達成した案件です。



QCサークル紹介	サークル名 (フリガナ)		発表形式	
	セキソえもん (セキソエモン)		PC	
本部登録番号	765-39	サークル結成年月	2019年4月	
メンバー構成	8名	会合は就業時間	外	
平均年齢	38歳(最高59歳、最低24歳)	月あたりの会合回数	2回	
テーマ層	本テーマで18件目 社外発表2件目	1回あたりの会合時間	0.5時間	
本テーマの活動期間	2024年4月～2024年7月	本テーマの会合回数	10回	
発表者の所属	営業部		勤続2年	

4. 私たちが所属するサークルの紹介

**サークルレベル**

サークルの能力UPでC→Bゾーンを目指す！

サークルレベルBゾーンを目指す

X軸：サークルの平均的な能力  
Y軸：明るく働きがいのある職場

QCの基本的な考えと問題解決ステップ  
人間関係とチームワーク  
職場のQCルール遵守  
サークル会実施状況

補強ポイントとその対策  
（自分たちの弱みところをどう克服するか）

QCのもの見方・考え方およびQC手法（QCストーリー・7つ道具）を理解し、改善する力を身に付ける。  
15つの部署が混合したメンバーなので、お互い助け合いながら活動する。

4. 私たちが所属するサークルの紹介

**職場の紹介**

株式会社セキソー

美工場 本社・岡崎工場 西尾工場

製造部門 事務部門 間接部門

営業部 人事部  
調達部 総務室  
経理部

セキソえもんサークル

**セキソえもんサークルの組織と活動の状況**

- ・事務部門は全て本社・岡崎工場に集約されている。
- ・各部1名～3名とメンバーが少なくて活動が困難なため、合同サークルとして活動を行うことになった。
- ・部署をまたがるため、お互いの部署や職人の業務についてはほとんど把握しておらず、活動する時もそのテーマがわかる担当者に負担がかかるようになっていた。

5. テーマの選定

**テーマ案の選出**

テーマ案の選出のやり方について  
ブレインストーミングを行い、メンバー全員から付箋を使って出された多くのテーマ案がある程度まで絞りこんだ。

表1. テーマ候補リスト

テーマ候補	意見者所属	意見集めの付箋
総合事務所内靴箱における放置靴数の削減	総務	親和図法に ならない、ある 程度まで絞り 込み
仕入先コード4000番台における経費処理工数の低減	経理	
購入依頼申請書入力における科目間の誤り発生を 傘立てにおける雨漏り対策の改善	調達	
観葉植物の管理方法の見直し	総務	
観葉植物の管理方法の見直し	人事	
重要業務の作業手順整備による工数の低減	営業	

5. テーマの選定

**テーマ案の絞り込み**

さらにマトリックス図により今回のテーマを絞りこんだ。

No	テーマ候補	緊急性	重要性	期待効果	総合評価
1	総合事務所内靴箱における放置靴数の削減	○	△	○	13点
2	仕入先コード4000番台における経費処理工数の低減	○	○	×	11点
3	購入依頼申請書入力における科目間の誤り発生を 傘立てにおける雨漏り対策の改善	△	×	×	7点
4	観葉植物の管理方法の見直し	×	×	○	7点
5	観葉植物の管理方法の見直し	△	△	×	7点
6	重要業務の作業手順整備による工数の低減	△	△	△	9点

図1. テーマ絞り込みのためのマトリックス図

6. 現状の把握

**総合事務所内における靴箱を確認**

レイアウト図と現地現物により靴箱の場所を確認

① 渡り通路付近 ② 女子更衣室内

図2 総合事務所レイアウト図 図3 総合事務所内の靴箱

「放置靴」について  
放置靴とは…靴箱に置いてあるが、誰の物かわからず勝手に放置されている靴のことを呼ぶこととする。すなわち、誰の物かわからないので勝手に選けたり捨てたりしないため困ってしまう。

6. 現状の把握

**放置靴数調査1**

それぞれの靴箱において、どれだけの数の放置靴があるかを調査した。

調査方法：使用状況把握のためアンケート調査(図4)を実施し、使用中の回答がなかった靴を放置靴と扱うこととした。

調査対象：総合事務所内出入りし、靴箱を使用し得る可能性があるとされる社員全員  
(総合事務所・製造事務所・出荷ハウス・テクニカルセンターをが拠点の方には個別に直接依頼し、各工場の製造部については工場長に調査のとりまとめをお願いした。)

図4 アンケート用紙

6. 現状の把握

**放置靴数調査2**

調査結果：下図(図5および図6)に示す。

図5 置き靴数調査結果(①渡り通路付近)

図6 置き靴数調査結果(②女子更衣室)

わかったこと  
・女子更衣室は靴数も少なく、放置靴数比率は2割  
・渡り通路付近については靴数も36足と多く、うちほぼ6割が放置靴数で、使用者確認靴の数を上回っている

6. 現状の把握

**放置靴数調査3**

さらに渡り通路付近の靴箱の使用状態を現地現物で確認した

見た目も環境も良くないね

図7 靴箱の使用状態(①渡り通路付近)

わかったこと  
・渡り通路付近については置ける数いっぱい(36足)に靴が置かれている。  
・購入時の箱やシューズ入れに入った靴や使い古されてボロボロになった靴が入っていたりしていた。  
・22足が放置靴であり、管理も特になされていないため、新たに使いたい人が使えないようになっていた。

6. 現状の把握

15

放置靴数調査4

女子更衣室についても靴箱の使用状態を現地物で確認した



図8 靴箱の使用状態(2女子更衣室)

困ったな…

わかったこと

- 女子更衣室については10足の置き場に対し、9足の靴が置かれている。
- 9足のうち2足が放置靴である。

現状把握のまとめ

- 放置靴は2ヶ所合計で24足ある
- 渡り通路付近ではおよそ6割が放置靴であり、置き方もまちまちで統一されていなかった
- 靴箱に置けなくて困っている方が数名いる
- 靴箱が管理されている様子が見られない

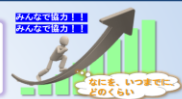
7. 目標の設定

16

目標の設定

なにをいつまでにどのくらい

総合事務所の靴箱における放置靴数を  
2024年7月までに  
24足から0足に削減する！！



活動の計画

ステップ	担当	計画			
		4月	5月	6月	7月
1 テーマの選定	全員				
2 現状の把握と目標の設定・活動計画	本村				
3 要因の解析	大竹				
4 対策の検討と実施	貝田・小山				
5 効果の確認	松本				
6 標準化と管理の定着	中井				
7 反省と今後の課題	全員				

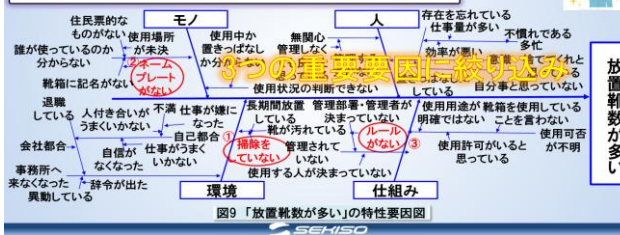
8. 要因の解析

17

重要要因の洗い出し

『放置靴数が多い』に注目し、特性要因図で解析を行い、重要要因の絞り込みを実施。

全員参加で主要因を見つけよう！！



放置靴数が多い

8. 要因の解析

18

重要要因のまとめ

重要要因に対する仮説 表1 重要要因のまとめ表

要因No.	重要要因	仮説	検証内容	検証No.
①	掃除をしていない	掃除担当が決まっていないから放置靴を問題視しないのでは？	一斉清掃時に靴箱の清掃をしているか確認する	①
②	ネームプレートがない	そもそも個人が置きっぱなしにする前提ではなかったのでは？	総務に管理方法を確認する	②
③	ルールがない	ルールがなく運用方法が不明確なのではないか	ルールがあるかどうかを確認する	③

8. 要因の解析

19

重要要因に対する検証1

- 要因① 掃除担当、掃除範囲に靴箱が含まれていないのでは？
- 検証① 一斉清掃時に靴箱の清掃をしているか確認する
- 検証方法 毎週の一斉清掃時に靴箱付近で清掃を行っている5人に聞き込みアンケート調査を実施
- 検証結果 ・自分が清掃担当で清掃しているという人は5人中0人で、誰かやってくれないかなと思ってたということがわかった。  
・総合事務所の4S責任者も特に靴箱における担当者は決めていなかった。

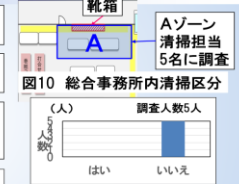


図10 総合事務所内清掃区分

図11 靴箱清掃担当をしているかどうかのアンケート結果

要因と関係あり

8. 要因の解析

20

重要要因に対する検証2

- 要因② 靴箱の管理部署、管理者が決まっていないのでは？
- 検証② 総務室に管理方法を確認する
- 検証方法 現在の総務室担当者および総務経験者計6名に聞き込みを実施
- 検証結果 ・総合事務所の靴箱は共有物で、外から来た人の靴で総合事務所が汚れないために使ってもらおうとしていたため、個人に対する使用管理は特に考えていなかった。  
・施設管理として破損修理などは行っていたが、使用については管理していなかった。  
・設置当初は空いている場所が多く、特に気にしていなかった。

無管理とは…

要因と関係あり

8. 要因の解析

21

重要要因に対する検証3

- 要因③ 靴箱に靴を保管するためのルールがないのでは？
- 検証③ 靴を置くためのルールがあるか確認する
- 検証方法 総務室に確認する
- 検証結果 ・総務室に確認したところ、検証②で挙げたように、原則は「汚れた靴の人が外から入った場合に使い、総合事務所での用事が済んだら靴を取り出す」ということだが、これを明文化したルールは特に確認できなかった。  
・当たり前のことなので、特にルール化は考えていなかった。  
・総合事務所でも日常的に安全靴を履いて仕事する人が増え、普段から靴箱を使用するため、ルール化が必要だとメンバーからも意見が挙がった。

要因と関係あり

8. 要因の解析

22

検証結果のまとめ

重要要因に対する検証結果 表2 検証結果のまとめ表

検証結果をまとめるとどれも要因だとわかりました

要因No.	重要要因	検証内容	検証結果	判定
①	掃除をしていない	一斉清掃時に靴箱の清掃をしているか確認する	誰も清掃に割り当てられてはなかった	要因である
②	ネームプレートがない	総務に管理方法を確認する	施設管理のみで使用管理はしていなかった	要因である
③	ルールがない	ルールがあるかどうかを確認する	「使わない時は靴箱を空ける」ことができない人に対するルールがない	要因である

系統図-マトリックス図にて対策を検討

特性	1次手段	2次手段	3次手段	評価			対策基準
				効果	実現性	ランク	
放置靴数をなくすには	靴箱の整理清掃	持ち主不明の靴をなくす	持ち主不明の靴の撤去	○	○	10	対策①
		掃除担当場所に加える	担当者を決める	×	△	4	
	使用者の明確化	靴箱の使用者を表示する	ネームプレートを作成する	○	○	10	対策②
		靴箱と使用者を明確にする	台帳を作成する	○	○	10	対策③
靴を放置させない		靴箱の使用方法を定める	靴箱使用ルールを作成する	○	○	10	対策④

よし、対策決定！

対策案を4つに絞り込み実施することにした

図12 「放置靴数を減らすには」の系統図-マトリックス図

対策案のまとめ

表3 対策案のまとめ表

対策	目的	対策
①	放置されている靴をなくし、靴箱をきれいに使える状態にする	持ち主不明の靴の撤去と靴箱の清掃
②	誰が使っているかを誰でも見てわかるようにする	ネームプレートを作成する
③	誰が使えるようになったかを総務室が管理できるようにする	台帳を作成する
④	靴箱使用の基本ルールを明確にして周知する	靴箱使用ルールを作成する

対策の実施1

対策① 持ち主不明の靴の撤去と靴箱の清掃

やったこと

調査中のアンケート結果に基づき、放置靴と明らかになった靴を全て処分した。またサークルメンバー全員で靴箱の清掃を行った。

これにより、渡り通路付近の放置靴は22足→0足に、女子更衣室の放置靴は2足→0足になった。

メンバー全員で靴箱をピカピカにできて、空いたスペースもできて、とても気持ち良く使えるようになったね！

図13 対策前後の靴箱(①渡り通路付近)

対策の実施2

対策② ネームプレートを作成する

対策③ 台帳に登録する

これで使用者がわかりやすくなったね！

番号で管理+使用者のネームプレートを取付

図14 ネームプレート取付前後の靴箱(①渡り通路付近)

図15 靴箱管理台帳

やったこと

総務室が使用管理も行うこととし、台帳に登録した靴箱の位置に使用者のネームプレートを貼り付けるようにした。

対策の実施3

対策④ 靴箱使用ルールを作成する

空き場所が明確になって、有効的に使用できるようになったね！

やったこと

靴箱使用の基本ルールを明記し、これを靴箱に貼り付けて明示した。併せて総務室が個人の置き場の登録管理をしていること、さらに空きの場所が使用可能であることを関係者に伝え、使用したい人は総務に連絡の旨明示した。

靴箱使用ルールを展開しますので、皆さんキメを守って下さいね！

各部署上司へ展開完了！！

よし、わかった！

図16 靴箱使用許可についての明示

有形の効果

有形の効果

2024年4月 放置靴は0件 2025年も継続中

2024年7月 放置靴は0件 2025年も継続中

図17 対策前後の放置靴数の変化(①渡り通路付近)

図18 対策前後の放置靴数の変化(②女子更衣室)

対策の結果

- ・放置靴を0件にできた！
- ・使用できる靴箱の数が増えた
- ・仮に靴箱を一台購入することを選ばれたと仮定した場合の効果金額…30,000円/年

目標達成！！

無形の効果

活動後のサークルレベル

サークルの能力UPでC-Bゾーンを達成！

サークルレベルBゾーンを達成

みんなの力で目標達成！！

無形の効果

- ・見た目の悪さが解消された
- ・不要な靴の整理整頓ができた
- ・管理方法を決めることができた
- ・使いたい人が空きスペースに靴を置けるようになった

標準化と管理の定着

表4 標準化と管理の定着

目的	何を(項目)	誰が(担当)	どのように(方法)	いつ
標準化	靴箱台帳を	中井	作った	2024年7月31日
周知徹底	靴箱の利用方法を	中井	課長以上メールで展開し周知した	2024年8月6日
維持管理	靴の保管状況を	総務	定期的に点検する	都度

反省と今後の課題

良かった点

- ・長年放置されていた靴箱の整理整頓を行うことが出来た。
- ・放置靴の撲滅により空きスペースを利用したい方へ活用することが出来た。
- ・役割分担してメンバー全員で改善活動に取り組むことが出来た。

悪かった点

- ・進捗が遅れがちだったので7月で巻き返す必要があった。
- ・匂いが気になるとの声があったが、取り組むことができなかった。

今後の課題

- ・5S活動の清掃箇所に加えて清潔な状態を維持させたい。